

我孫子市 部活動地域移行について

生徒、保護者へのアンケートを踏まえた課題

●指導者の確保と質…

専門的な指導の担保、生徒とのコミュニケーション、責任の所在、ハラスメントの防止、教育的な目線など。

●学校との連携…

休日移行の段階での顧問との調整・指導方針など。

●活動場所…

生徒への移動負担が生じる、活動施設の修繕費、公共施設の優先利用など。

●費用…

受益者負担が前提となる、困窮世帯への支援など。

●安全面

緊急連絡体制、責任の所在など。

課題

生徒と保護者の
不安解消が必要

本市の地域移行の方向性を示すため、「基本理念」、「基本方針」を設けることが必要

「基本理念」

…市として、地域移行するにあたっての基本的な考え方。

「基本方針」

…基本理念踏まえ、課題解決に向けた行動目標。

方針

例

●市主催の指導者講習会（現状の指導者養成講習会を活用）受講の義務化。

●クラブが請け負う場合は、「地域移行」の受け入れ先としての市の認定制度導入。

●活動場所は学校が中心となるが、賄いきれない場合は市公共施設の優先利用を調整。

●地域移行スケジュールの明確化。

目標
取り組み

1.基本理念

基本理念

部活動の地域移行を通じ、子どもたちの文化・スポーツ活動を支援します

学校部活動は、生徒が自主的に参加し、部活動の責任者である「部活動顧問」のもとで、学校教育の一環として実施されてきました。しかし、少子化が進展する中で、以前と同じ形態で学校部活動を運営することが困難となってきたことや、学校においても働き方改革が求められる中で、これまでの指導体制を見直す必要が生じてきました。

スポーツ庁及び文化庁では、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図ることとし、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」をもとに、令和5年度から7年度の3年間を改革推進期間として、地域の実情に応じて段階的に学校部活動を地域の団体が運営主体となる「地域クラブ活動」への移行を目指すとしています。

我孫子市においては、部活動の地域移行を通じ、子どもたちが地域移行後も安心して地域における、文化活動・スポーツ活動を継続できるよう、行政、学校、指導者、市民団体が協力して支援します。

2.基本方針

基本理念を踏まえ、基本方針を次の通りとします。

学校教育の一環として実施されてきた学校部活動を、学校を含めた地域全体で取り組む「地域クラブ」に移行するため、子どもたちが安心して、継続的に取り組めることを第一に以下の方針に基づき取り組みます。

方針①

文化・スポーツ活動に継続して親しむことができる環境と質の高い指導体制の構築

①適切な管理体制の構築と部活動指導員の充実

生徒たちが継続的に文化・スポーツ活動に取り組むことができる環境整備を行うとともに、部活動指導員を充実させ、段階的な地域移行を目指します。

②生徒の多様な志向に対応できる活動環境

③指導者の育成と質の高い指導者確保

市主催の講習会への参加を通じて指導者として最低限必要な能力を身に付けます。また、関係団体等と連携して指導者の確保に努め、持続可能な運営体制の構築を図ります。

方針②

安全・安心な活動体制と活動施設の確保・維持

④経済的に安定した運営体制の構築を目指します。

持続可能な運営体制の構築には、受益者負担によるクラブ運営が欠かせません。会費及び国や県の補助金を適切に活用し、継続的に活動できる体制を目指します。また、誰もが参加できる環境にするため、困窮世帯への支援制度を検討します。

⑤活動場所の確保、適切な維持・管理を行います。

中学校の施設利用を基本とし、地域クラブが継続的に利用できるようにすべく、必要な改修等を行います。また、公共施設の利用では、利用料金減額等により、利用しやすい環境を整備します。